

2024年9月24日

各位

会社名 INTLOOP株式会社
代表者名 代表取締役 林 博文
(コード: 9556、東証グロース市場)
問合せ先 取締役管理本部長 内野 権
(E-mail: ir@intloop.com)

Idein 株式会社との資本業務提携に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、Idein (イデイン) 株式会社 (以下、「Idein」という) との間で、資本業務提携を契約することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 資本業務提携の理由

当社と Idein は、2024 年 5 月に、デバイス本体が人工知能 (AI) でデータ処理を行う「エッジ AI」ソリューションの提供、エンジニアリング支援等での包括的な協業を開始しており、第一弾として、Idein の開発した LLM App on Actcast と呼ばれるエッジ AI 技術と LLM (大規模言語モデル) を活用した革新的な PoC (Proof of Concept/実証実験) ソリューションと INTLOOP のコンサルティング支援サービスを組み合わせた PoC 伴走支援サービスを提供しています。

また、2024 年 9 月上旬に当社は、Idein の Actcast を活用した DX コンサルティングサービスの提供を開始いたしました。

現状、エッジ AI は、あらゆる産業で利用可能性を検討され、実際に一部の小売業での来店者調査 (AI カメラによる顧客層、購買状況の分析・調査) や製造業における新人技能員の教育 (AI で熟練者と新人の姿勢や骨格を推定、自動解析して作業の遅延状況を可視化) 等に活用されています。

しかしながら企業にとって、まだまだエッジ AI は、AI によるデータ収集時のプライバシー管理や開発と運用コスト、セキュリティ等の課題が多くあり、PoC から導入、実装までの難易度が高いものとなっています。

そのような課題に対して、Idein が提供するエッジ AI プラットフォーム Actcast は、エッジ AI システムの導入・運用に必要なインフラ等の機能までを一括で開発することにより、顧客に低価格かつ短納期でサービス提供できるプラットフォームサービスであり、特定のハードウェアベンダーに依存しない中立的で自由度の高いものとなっています。

この Actcast と当社の自社コンサルタントおよび約 41,000 名の登録プロフェッショナル人材が提供するエッジ AI の導入～実装までのコンサルティングサービスを組み合わせることにより、各企業のエッジ AI 導入に伴う課題を迅速に解決し、エッジ AI の導入を簡単かつ効果的に行うことが可能となります。

このたびの資本業務提携により、両社がさらなる連携を強化することで、企業におけるエッジ AI の利用を促進するためのエコシステムを構築し、日本社会におけるデジタルトランスフォーメーション推進に貢献してまいります。また、この協力関係を通じて、技術革新と持続可能な成長を実現し、未来の産業基盤を支えることを目指します。

2. 資本業務提携の内容

(1) 業務提携の内容

エッジAI 分野にかかる協業

(2) 資本提携の内容

第三者割当の方法により、当社が Idein の C 種優先株式 148,957 株を取得します。なお、取得価額は、299,999,398 円になります。

3. 資本業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	Idein 株式会社	
(2) 所 在 地	東京都千代田区神田神保町 1-4-13	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 中村 晃一	
(4) 事 業 内 容	Actcast 事業 (エッジ AI プラットフォームの開発・運営)、受託開発事業 (次世代自動車開発での協業等)	
(5) 設 立 年 月 日	2015 年 4 月 7 日	
(6) 決 算 期	9 月 30 日	
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 日 程

2024 年 9 月 24 日 資本業務提携契約締結

2024 年 9 月 30 日 株式取得 (予定)

5. 今後の見通し

本資本業務提携が当社の業績に及ぼす影響は、現時点では軽微であると認識しております。業績予想の修正等、今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上